

# マイナス金利から読み解く！

今、日本人が投資をしなければならない理由



木村裕一

## はじめに

どうも木村です！

皆さんは実は今の日本が  
めっちゃ投資で利益を出しやすい状況になってる  
のを知っていますか？

なぜなら、日本は政策金利で「マイナス金利」を導入しているからです。

と、言われてもイマイチピンと来ない人もいますよね。

「マイナス金利だとなんで投資がやりやすいの？」  
「そもそも金利が何かがよくわからない……」

そんな人のために、今回のレポートでは  
ここらへんのことをわかりやすく解説していこうと思います！

## ■そもそも金利って？

『金利』とは簡単に言うと、  
お金を預けておくとその見返りとしてもらえる利益のことです。

例えば、年の金利(これを年利と言います)が  
2%のところに100万円を1年間預けると2万円の利益をもらえる  
ということです。

お金を預けたところがそのお金を運用することによって  
利益を生み出すことに成功すれば、  
その一部を僕たち(お金を預けた人)に還元してくれます

つまり、僕たちとしては結果的に

**ただお金を預けているだけで利益をもらえる  
ことになるわけです。**

このように、基本的には  
お金を預ける側は利益を貰える権利を有しており、  
逆に、お金を預かる側は預けた人に  
利益を与えなければいけないのだと覚えておいてください。

## ■あなたも金利をもらっています

この法則は現在銀行にお金を預けている人にも  
もちろん当てはまるので、  
皆さんもちゃんと銀行が運用して得た利益の一部をもらっています。

もし 100 万円預けていたら、  
年間で 10 円ほどもらっている感じでしょうか。

**これは銀行が出している利益の**

**約 0.001%です。**

…はい。かなり少ないですが、  
確かにもらっています(笑)。

## ■銀行も金利をもらっています

銀行も、お金をいろんなところに貸し付けることで、  
そこからの金利をもらっています。

ただし、多くの人たちと違い、  
銀行はこの金利がメインの収入源です。

投資用不動産を買いたい人には金利3%、  
事業を展開したい法人には金利5%など、  
利益を上乗せしてお金を貸しています。

ようするに銀行の儲けの仕組みとしては、  
100万円をあなたから預かり  
それを他のところに貸し付けることで  
年間、約3~5万円の利益を得て、  
あなたにその中から10円渡しているということです。

「ちょっ・・・利益の配分おかしくね??」

って思いますよね(笑)。

もともとあなたのお金なのに、

利益配分が3000~5000:1なのです。

## ■金融緩和

『金融緩和』とは簡単に言うと、  
国の経済を活性化し  
景気をよくするための政策の1つです。

経済を活性化するとは、  
「市場のお金の動きを活発にすることで、

みんながその分お金をたくさん使いたくなる」  
状態にすること。

お金が回れば回るほど消費が活発になり景気が回復します。

そこで、政府は

### 日銀の民間銀行に対する金利を引き下げる

という政策を行いました。

それまで日本銀行に対してもお金を貸し、  
その金利で儲けていた民間銀行は  
この政策による金利の値下げによって  
儲けが以前よりも少なくなってしまうました。

そこで、銀行は日銀から取れていたはずの利益を  
他のところで賄う必要があります。

民間の企業や個人に今までよりも  
さらに多くのお金の貸し出すことで  
金利をいつも以上に取りに行くしかないのです。

つまり、日銀の金利を下げることで  
銀行の融資が増えると政府は考えたわけですね。

融資を受ける法人や個人が増えれば、  
そのお金を使って事業に必要な資源を調達するので、  
消費が活発になり景気が良くなるのではないかと。

## ■金利を下げたのに景気回復せず！

しかし、実際は金利を下げても  
融資はあまり増えませんでした。

なぜかという、日本には

「貯金をしなさい」

「借金はするな」

という固定観念が根強く残っていたからですね。

結局、政府の見込みは外れて  
金利を下げても景気は好転しませんでした。

ただ、だからと言って  
景気をよくするための手段が他にあるわけではありません。

そうなるとできることは  
金利をさらに下げるしかないので、

本来プラスだった金利はゼロになり(ゼロ金利政策)、

ついにはマイナスになってしまいました。

これが「**マイナス金利**」です。

## ■日銀にお金を預けているだけで損失が出る！

金利がマイナスになるということは、  
民間銀行は日本銀行にお金を預けるだけで  
損失が出るということです。

『基本的にはお金を預ける側は利益を貰う権利があり、  
お金を預かる側は利益を与えなければいけない』

という原理原則を説明しましたが  
それとは全く逆のことが起きたのです。

これではお金を貸し出す意味が全くないので、  
民間銀行は日銀にお金を預けるのをやめます。

そして、民間銀行は  
今まで日銀から取れていた利益が完全になくなってしまったことで  
収入源をカバーするための施策をせざるを得なくなります。

まず、預金者への金利を引き下げること  
で損失を減らしました。

こうして銀行預金の金利は  
0.001%という超低金利になってしまったのです・・・(0.001%)

さらに、融資を積極的に行うために、  
企業や個人が融資を受けやすいように  
融資先への金利もやむなく引き下げました。

要するに**融資の安売り**をし始めたということです。

## ■ 今が融資の受け時！

確かに金利が下がったことで  
銀行預金のメリットは少なくなりました。

逆に、金利を下げている今、  
企業や個人が融資を受けるには絶好のタイミングです。

なので、このタイミングで融資を受けて  
銀行のように金利の良いところにお金を預けて  
権利収入を手に入れやすいということです。

それらを受け、今チャンスなのが**不動産**です。

金利が下がりきった今、  
不動産を購入しておけば銀行にほぼ利益を取られないで  
資産構築ができます。

融資のハードルも下がり  
不動産が非常に購入しやすくなっている今、  
このチャンスに気づいている人は不動産をポコポコ買っています。

## ■ 投資をする人が増えれば景気は回復する

そして、マンションやマイホームなど住居を買う人が増えれば  
それに伴い家具を買ったりとか、車を買ったりとか、  
消費活動がより活発になりますよね？



ようするに、景気が回復傾向になるということです。

つまり、日本を豊かにするためにも  
今、この機会に投資をしない手はないということです。

また、逆に「投資をしないといけない理由」もあります。

現在、中国人をはじめとする海外の人が、  
日本の不動産を爆買いしているのです。

そうすると日本の中に  
外国人の所有する土地や不動産がどんどん増えてしまいます。

政府としても、日本国内の不動産の所有権を守るために  
投資家を増やしたい。

そのために金利を引き下げ、  
融資を積極的にしているという側面もあるのです。

結論、

**『日本を守るためにも投資はやらなければならない』**

ということです。

**最後に**

このように経済の仕組みを理解していないと  
お金を稼ぐチャンスをみすみす逃してしまうことになります。

でも、こういう基本的なところも  
現在の日本の義務教育では華麗にスルーされています。

だからこそ、僕たちは  
自分自身で情報を得ていかなければならないのです。

今後は情報を持っている人とそうでない人で  
未だかつてない格差が生まれる時代になります。

このような時代を損せず賢く生き抜いていくための情報を  
今後共発信していきますので楽しみに！

木村裕一（チェリーコーク）

追伸:このレポート気に入ってくれたらぜひこちらへご登録を^^

⇒[『エリート投資家養成講座\(無料\)』](#)

**日本人の投資への意識を改革するため拡散希望**

追伸:このレポートは転載自由です。

誰かお友達に伝えたいときは、下記のリンクを紹介してあげてください！

⇒ <https://goo.gl/dskXD1>

追追伸:他にもたくさんレポートを書いています♪

※全部無料です。

■ 年収 1000 万エリート投資家への最初の教科書

⇒ <https://goo.gl/DPQmxI>

■ 副業禁止のサラリーマン必見!!バイトが会社にバレるワケ

⇒ <https://goo.gl/s0UjnY>

■ 不動産投資に潜む 6 つのリスクとその対策

⇒ <https://goo.gl/OezhIF>

■ 誰も教えてくれない日本がデフォルトしない本当の理由

⇒ <https://goo.gl/r7Qbbm>

■ 超カンタン！木村がFXで成功できた4つの理由

⇒ <https://goo.gl/JeV7un>

追追追伸：

私木村からの情報を確実に受け取るために、ぜひ

公式 LINE@に登録してください。



”LINEのお友達限定”の極秘情報もお届けする予定ですので楽しみに。

上記の友だち追加ボタン、またはQRコードから友だち追加してください。

LINEの検索に「@scn8293v」と入力しても友だち追加ができます。